

君達が愛し創造するふるさと  
平成28年 由良町成人



# 羽付け!! 新成人





# 平成27年 12月定例会 12月10日～15日開会

## 一般会計補正予算 1、520万円追加

### 平成27年度一般会計歳入・歳出それぞれ 40億3790万円に

今回の定例会は、由良町過疎地域自立促進計画の策定、土地の取得、条例の一部改正4件、条例制定1件、一般会計補正予算、公共下水道事業特別会計補正予算、漁業集落環境整備事業特別会計補正予算、人事2件すべて可決しました。

なお、「安全・安心の医療・看護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める」請願については、継続審査となりました。

また、一般質問は7名の議員が登壇しました。

## 一般会計補正予算

**地域活性化・地域住民生活等  
緊急支援交付金について  
1,000万円**

**問** この交付金を活用するサイクリングイベントの開催を役場内のプロジェクトチームで検討しているとのことですが、具体的な内容は。

**答** (総務政策課企画政策班長) サイクリングイベントの詳細については検討中ですが、開催日は3月19日、20日を予定しています。内容は、レース・ツーリング・イベント・ウォーキング等の実施を予定しています。



## 由良町 過疎地域自立促進計画策定

「過疎」というのは、地域の人口が減少してしまふことで、その地域で暮らす人の生活水準や生活機能の維持が困難になってしまう状態を言い、そのような状態になった地域を「過疎地域」と言います。

由良町は、平成22年過疎法の一部改正により、過疎地域に指定され、平成27年度までの6年間の計画を策定し、実施してきました。

引き続き由良町における、総合的かつ計画的な過疎対策を実施するため、平成28年度から平成32年度までの5年間の計画を策定したものです。

## 由良町総合戦略策定

由良町は、平成27年10月30日に、「由良町まち・ひと・しごと創生推進協議会」からの答申を受けて、由良町総合戦略を策定しました。

総合戦略を実施していくにあたり、人口減少や諸々の課題を克服するため、次の4つの基本目標が設定されました。

- 基本目標1** 「由良町における安定した雇用を創出する」
- 基本目標2** 「由良町への新しいひとの流れをつくる」
- 基本目標3** 「由良町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
- 基本目標4** 「由良町の時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

## 過疎地域自立促進特別事業の主な計画

(平成28年度～32年度)

- 獣害対策環境整備事業
- 里山環境保全整備事業
- 漁業振興対策事業
- ゆらふれあい祭助成事業
- ふるさとフェスティバル助成事業
- 薬草園管理事業
- コミュニティバス運行事業
- 小学生定期代助成事業
- 高校生通学費補助事業
- ALT設置事業
- ふるさと教育推進事業
- 地域集会所耐震診断
- 過疎集落再生・活性化支援事業
- 高齢者健康対策事業
- デイサービス事業
- 訪問給食事業
- 緊急通報装置設置事業
- こども医療費助成事業
- 認知症予防対策事業
- がん検診等受診対策事業
- 老人憩いの家耐震診断
- 診療所運営事業
- スクールバス運行委託
- 水道・下水道台帳作成事業
- 災害ハザードマップ作成
- 老人福祉施設措置事業
- 学童保育運営事業
- シルバー人材センター事業
- 大学のふるさと事業(摂南大学との連携)

## 人事

- 由良町選挙管理委員会委員**  
(任期は、平成28年1月8日から平成32年1月7日まで)
- |        |            |
|--------|------------|
| 湯川 直 宣 | 衣奈 809番地   |
| 岡 紀 行  | 門前 218番地   |
| 岩崎 正   | 神谷 318番地の2 |
| 小谷 かおり | 里 231番地    |
- 由良町選挙管理委員会委員補充員**  
(任期は、平成28年1月8日から平成32年1月7日まで)
- |        |             |
|--------|-------------|
| 中川 博   | 吹井 252番地の37 |
| 坂田 妹 子 | 衣奈 862番地の2  |
| 岸上 昭 一 | 三尾川 364番地   |
| 菅野 幸 江 | 阿戸 217番地    |



# 産建厚生常任委員会の行政視察

## 井戸海水を利用した陸上養殖

場所：鳥取県栽培漁業センター

日時：平成27年11月26日



11月26日に議員8名、町職員2名は、鳥取県東伯郡湯梨浜町で、井戸海水を利用して陸上養殖を実施している栽培漁業センターへ行政視察研修を行いました。

このセンターでは、井戸海水を利用し、マサバ、キジハタ、ヒラメ、アワビなどを陸上で養殖しています。

今回は、マサバの養殖について、鳥取県栽培漁業センター養殖・漁場環境室の担当者から説明を受けました。

当栽培漁業センターは、陸上養殖を選んだ理由は二つあるとのこと、一つ目は鳥取県が波浪の条件が厳しく、海上での養殖が困難だということ、二つ目は鳥取県の沿岸は砂浜が多く、海水が浸透しやすいので陸上養殖に必要な井戸海水を得やすいということです。

次にマサバを選んだ理由は、有名な「関サバ」などからわかるように、品質の高いものは非常に高級です。また、魚は一般的に天然物に比べて養殖物は安いですが、マサバは脂の乗りが良く品質が安定することなどから、養殖物の価値が高いとされています。また、陸上水槽で人口種苗を用いて養殖するため、アニサキス寄生虫の感染が避けられるとのこと。

人工的に生産した稚魚は、初期の成長が早く、1か月で約10cm、8か月で30cm以上の魚に成長します。



栽培漁業センターは、企業誘致に向けて技術開発を行っており、陸上養殖の事業化については、平成27年6月からJR西日本と共同研究を始めています。

ただし、市場ニーズや養殖コストの詳細については、現在研究中であることから、聞くことはできませんでしたが、今後その成果を見守っていきたいと思います。

# 総務文教常任委員会の行政視察

## 橋本市の小中一貫教育

場所：橋本市

日時：平成27年10月16日



総務文教常任委員会は、10月16日に県内、橋本市の小中一貫教育についての視察研修を行いました。

まず始めに橋本市教育委員会の方から、小中一貫教育に至るまでの経緯やメリット、デメリット、小中一貫教育の目標、目指すもの、これまでの成果と課題について説明を受けました。

平成18年、橋本市教育改革プラン「人づくりはまち全体で行う」を作成。

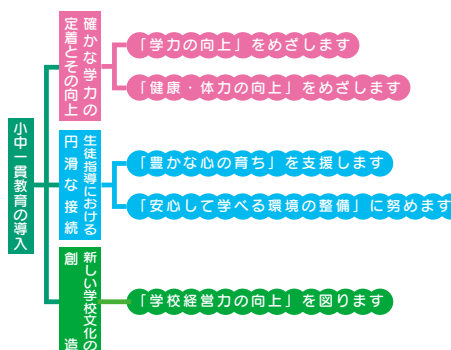
平成19年、橋本市教育委員会「橋本市の小中一貫教育の在り方」の答申では、学校は中1ギャップ、学力、生徒指導等、小中学校間にある課題を解決するために、子どもの発達や育ちに視点を当て、課題を共有し、9年間の中でふさわしい時期に、ふさわしい方法により、生きる力を培うための取り組みが重要であるとなっています。

橋本市では、平成15年度～17年度に小中一貫教育研究開発をはじめ、平成19年度、橋本小、橋本中学校に研究指定、平成24年度に市内全小中学校において小中一貫教育を実施、平成25年度に小、中学校を同一敷地内に開校、現在に至っております。

一貫教育の導入により、小学校と中学校が目標を共有し、教職員が一体となって学習指導や生徒指導に組織的に取り組み、学力の向上、健康、体力の向上を目指し、豊かな心の育ちを支援していき、学べる環境の整備や学校経営力の向上を図っています。

説明のあと、小学校の方にも行き、学校の現状を聞かせて頂きました。橋本小と中学校は同じ敷地内にある施設一体型でした。ちなみに一貫教育にはふたつの型があり、同一敷地内にある施設一体型と、もう一つは現状のままで行う連携型があり、施設一体型のメリットとしては児童生徒の移動が容易で、交流活動がしやすい、また、教員の交流や事務がしやすく、会議等にも集まりやすい。デメリットとしては、体育館や特別教室、運動場の使用の調整が必要なことです。また、連携型のメリットとしては、現状のまま小中一貫教育ができる。デメリットとしては、児童生徒の交流活動が困難、教員の交流や事務が移動距離や時間調整のために容易でない、あるいは意識的に小中一貫教育を行わないと一貫教育の活動が鈍くなることがあります。

いずれもメリット、デメリットがありますが、要は、取り組む姿勢が最も大切なことだと痛感したところです。



# 鳥取県若桜町に行政視察

## 若桜学園小中一貫教育

(校訓) 自ら立て、正義に立て、社会に立て

(研究テーマ) 9年間を見通した確かな学びの創造

場所：鳥取県若桜町

日時：平成27年11月27日

鳥取県若桜町の若桜学園での行政視察研修を行いました。若桜町は人口3,363人、観光が主な産業で、自然が豊かな町です。夏は登山、冬はスキーと1年中を通して色々楽しめるとのことでした。若桜町の小中一貫校開校までの道筋についての説明や、教育目標についての説明を受けました。

若桜学園は、平成24年に施設一体型、小中一貫校として、町内2つの小学校と、2つの中学校を統合してスタートしています。教育目標は、「若桜を愛し、世界に羽ばたく心豊かでたくましい」を軸に、若桜の子どもの育成として、豊かな心・確かな学力・体づくりをとおして自立の出来る子供を育てる、といった教育を目標にしています。

また、一貫教育にしたことでの成果としては、学力面で全国統一テストの平均点が上がったこと、生活面では、3ブロック制による4、3、2年制を取り入れ、小1～小4年生の前期、小5～中1の中期、中2～中3の後期に別け、各期別で高学年が低学年のお手本となるよう責任感が育まれたこと等、全体を見れば中学3年生が下の学年の児童生徒の



目標となれる存在に育まれていることを挙げていました。そして、学童保育に関しても学校内で設置しているため、放課後はスムーズに移行できる、また、校長OBも休日などに子ども達を集めて、習字や勉強会を開いてくれ、できるだけ家に引き籠らないような対策に協力してくれている等、様々な分野の人たちが教育に携わってくれているとのことでした。

由良町でも、児童生徒が減少していく中で、どのような教育目標を掲げ、どのように達成していくかを考えると、小中一貫教育は今後、取り組むべき重要課題ではないかと思えます。



# 一 般 質 問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は7名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

## 畑中町長の次期町長選挙への出馬について

初心にかえり全力で臨みます



藤田 富三 議員

**問** 町長は就任後、誠実で公正、平等を信念として行政改革の推進及び財政規律の厳守に努められ、町民目線に立った町政を運営すると言う基本方針を示されました。

また、ふるさと由良町に誇りと活力をスローガンに掲げられ、「安全で住みよい町づくり」「健やかで生がいの持てる町づくり」「子ども育成支援」「活力ある地域づくり」「基幹道路の整備」と5つの重点施策を推し進めると所信表明されました。特に厳しい町財政のもと、健全財政を念頭において行政手腕を発揮され、多くの施策を有言実行で実施されてきました。

これまで様々な施策を展開され、町政発展に大きく貢献されてきましたが、町政においては、これからの何件かの課題が残されており、

また、平成27年10月には由良町総合戦略を策定され、これらの事業の実現に向け、陣頭指揮を執っていたために、引き継ぎ町政を担っていただきたいと願っていますが、畑中町長の決意をお伺いします。

**答**

(町長) 平成20年5月から町政を担っていただき、あっという間に7年6ヶ月が過ぎました。この間、職員の皆さん方、区長をはじめ大勢の町民の皆さん方、また、職員の支えの中で町政の伸展、住民福祉の増進に全力で取り組んできました。

藤田議員から就任以来取り組んできた各政策について評価をいただき、感謝を申し上げます。私の任期も残されたところあと5ヶ月余りです。その残りの期間に誤りなきよう町政を推進してまいりたいと思っております。

藤田議員から、次期町長選挙への出馬について、あなたがたく強い要請をいただきました。過日から区長有志の皆さん方、農業団体の皆さん方、漁業団体の皆さん方、商工会の団体の皆さん方等からも出馬要請という力強いご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

皆さん方からいただいたご支援、思いに真摯に向かい合い、10月に策定した由良町総合戦略に基づく町づくりに取り組むとともに、これまで取り組んできた事業案の中で残された多くの課題の解決に向けて、今一度町政を担当させていただくべく気持ちを新たに初心に返り、全力で次期町長選挙に臨んでいきたいと考えております。皆さん方のご協力、ご理解を心からお願いたします。

## 避難道路の整備を

地元で整備に向けて対応していただきたい



吉田ひとみ 議員

**問** 避難場所の北山へ行く際、ブロック塀にヒビが入っているところが箇所あり、道の幅も狭いので、広くして欲しいとお願ひしていましたが、その後の話は進んでいないのか。

(町長) ご指摘の町道につきましては、用地所有者のご協力により、改良工事の契約を済ませました。完了は、2月16日の予定ですが、工事期間は、地元住民の皆様方には何かと迷惑をおかけすると思っておりますが、ご協力のほどをお願い申し上げます。

(通称) 紺源山への避難道路の整備についてですが、南海トラフ大地震がいつ起きてもおかしくない状況です。一刻も早い実現をお願い致します。

(町長) 避難道路等につきましては、地元において場所を選定し、整備に向けて対応していただければ、町としても補助していきたいと考えています。



避難道の整備 (横浜地内)

**問**

里区の避難場所ですが、区長さん筆頭に青年会、婦人会、子ども会などが協力して作っていると聞きました。行政に頼むばかりでなく、自分達で避難場所を見に行きたいと思っております。

(総務政策課長) 里区につきましては、区長のリーダーシップ、皆さんのボランティア活動により、きれいな避難場所となっております。材料費等は、一部町の方からも補助しています。



里区避難場所

## 後期高齢者医療 保険料を引き上げない努力を

発言できる立場でない



川出 純 議員

**問** 後期高齢者医療の保険料は、2年に一度改訂されます。現在、広域連合では、次期の保険料の試算作業が行われております。これまでの3回の改訂では、医療給付費の伸びの見込みが大きすぎて、剰余金が生まれています。この剰余金を利用して保険料を引き上げない努力をするべきではないか。

(町長) 後期高齢者医療の保険料につきましては、保険者である和歌山県後期高齢者医療広域連合において、その議会の議決を経て決定されるものであります。したがって、私からこれについて、引き上げない、あるいは引き上げる等とする答弁は適当ではないというふうに思っております。

## 社会教育の強化を

青年と対話

**問**

町内の子ども会活動で共通の活動は「夏休みのラジオ体操」ですが、他の活動で重点をおきたいと考えているものはありますか。

次に青年活動についてですが、過去には、青年団、青年クラブなど、町が青年活動を支援してきたことがありましたが、今の若い人達が何を考え、どのような活動に興味があるのかを聞けるような体制づくりはできないのか。

(教育長) 現在、町内には16の子ども会があり、それぞれ自主的な運営を行っております。教育委員会としては、研修会などで、子ども達が役割と責任を持って主体的に行動する社会体験や、自然体験などの活動は積極的に取り入れていただきたいというお話はさせてもっております。

次に、青年活動についてですが、青年団、あるいは以前あった青年団交流会などの組織づくりは、非常に難しい課題であると考えています。青年達がどういうことを望んでいるのかを把握することも大事と考えております。

教育委員会では、そういった青年との対話を何らかの形で行えないものかと、現在話をしてるところです。

## 自岐海洋公園の活用方法と安全管理及び公園の整備について

インバウンド観光への取組みに可能性



山名 実 議員

**問** 由良町と連携包括協定を締結している摂南大学の学生や指導教授から、由良町の観光に対して、提言やアドバイスのようなものがあったのか。次に海洋公園は平成9年4月にオープンして、まもなく

20年が経過しますが、展望台の手摺や海岸へ降りる階段の安全、手摺の老朽化が進み、危険な箇所もありますし、落石防護ネットの鉄分の影響で、錆びて赤茶け、白い岬、白崎のイメージダウンになりかねないと思っておりますので、公園の安全管理についての所見をお聞きたい。

また、観光客の滞在時間を延ばせるような、集客に結びつくような施設や方法は検討されているのか、公園の整備と合わせて、町長のお考えを聞かせていただきたい。

**答**

(町長) 摂南大学の学生からの提言やアドバイスについては、インバウンド(訪日外国人旅行者)を新たなターゲットとして誘客したり、由良町での体験メニューを組合せたりして、外国人旅行者の受け入れをしたらどうかという報告を受けております。

次に公園の安全管理ですが、いたる所老朽化が進んでおりまして、指定管理者による日常点検を徹底しております。展望台の手摺については、今年度中に修繕を予定しており、その他の箇所については、優先順位を明確にし、順次対応したいと考えております。

次に落石防護ネットの老朽化については、数年前から景観面、安全面で色々な方から問題提起されておりますので、検討していかなければと考えております。

続いて滞在時間の延長ですが、指定管理者の方で「バームクーヘンづくり」や「フォトフレームづくり」といった体験メニューを実施して、新たな誘客を図られております。

それと、日高地方、有田地方との連携をとり、地域での滞在時間の延長を図っていくようなツアーを売り出していくのも、一つの方法と考えております。





# 一 般 質 問

## 井戸海水を利用した 陸上養殖について

段階的に検討を要する事業



中村 真一 議員

### 問

10月に、「地方創生  
戦略」が策定され、基本  
的方針の一つとして、「育  
てる漁業への支援」とい  
う項目があります。

そこで、今回、行政視察  
を行った井戸海水を利用し

た陸上養殖に注目し、具体的施策の一つとして提案し  
ます。  
陸上養殖は、自然災害のリスクを大幅に軽減できるだ  
けでなく、水産業への投資、企業誘致、雇用創出につな  
がる可能性があります。  
ところが陸上養殖に必要な条件を備えている井戸海水  
は、地形、地質の条件などが影響するため、安定した井  
戸海水が得られるかどうかは、調査しなくてはわかりま  
せん。

陸上養殖を進める第一歩として、井戸海水の試掘調査  
の実施を検討し、陸上養殖事業展開の可能性を探る必要  
があるのでは。



### 答

(町長) 総合戦略では、「育てる漁業への支援」と  
いうことで、養殖環境の整備を行う事により、生  
産者の所得の安定、後継者不足の解消、新規ブランドの  
開発を積極的に進めようという戦略を策定しました。

当町では、ワカメ、アカモクなどの水産物加工処理施  
設改修に対する補助、ク工、オコソの放流、藻場再生事  
業を行っています。

陸上養殖に適した井戸海水の試掘調査につきまして  
は、漁業関係者、養殖事業者、県の水産試験場、大学の  
水産試験場などから意見を聞き、十分研究した後、陸上  
養殖の事業化の見通しが立った時点で、試掘調査を考え  
段階的に検討を要する事業であると考えています。

## 風力発電の低周波音による 健康被害について

客観的な根拠が説明できない案件、  
質問への答弁はいたしかねる



由良 守生 議員

### 問

風力発電の被害は、  
同じ環境、条件下で  
ならば、大体10人中、1人  
か2人の被害者が出ると思  
われています。ひどい地域で  
は、これが5、6人になり  
ます。

一旦、低周波音を頭で感  
じる被害者になれば、生活は一変し、苦しい時間の連  
綿となります。絶えず耳鳴りがして、耳が痛くなり、  
頭痛がします。著しく日常生活の質が下がります。  
この被害の特徴は、周囲の誰にも分かってもらえな  
いことです。風邪を引いたとか、ケガをしたというよ  
うな誰にも分かる経験のあるものではありません。  
しかし、経験がなかったとしても、人間は考えをめぐ  
らせて結果にたどり着きます。どんな嘘も、作り話も通  
用しません。科学とは、歴史とは、そういうものです。  
風力発電の場合は、仮説ではなく、目の前に大きく  
そびえ立ち、大きな音をたてて回っていました。  
被害があるから、何が原因か、と追求して測定して  
得た結果と、「被害はない」として騒音評価する測定と  
は、初めから考え方が違っています。

由良風力発電2000kwの場合、人に被害を与える  
波長は、2Hzのところと特異なピークを持って、30デシ  
ベルの差位で激しく変動します。エネルギー比で10  
00倍のアップ・ダウンです。  
巨大な風力発電を建設したから、地域の人たちは、  
頭痛や耳鳴り、目まい、などの被害に苦しむようになり  
ました。「この事実を否定できるような証拠はありませんか。  
是非、一旦、風力発電を止めて、健康調査なり、意  
識調査をしてください。」

### 答

(総務政策課長) これにつきましては、議会の度  
に何度も町長がお答えしております。

体調不良を訴える町民の方がいるのであれば今まで  
同様当町の保健師はもとより御坊の保健所なども協  
力も得て対応して参りたいと考えております。また、  
客観的な根拠が説明できない案件、質問への答弁は  
いたしかねます。

(※なお、由良議員の一般質問の中で不適切な発言が、  
3回ありましたので、議長において発言の取り消しと  
発言の停止を命じられました。)

## 総合戦略における事業について

具体的事業を検討中



中谷 茂生 議員

### 問

10月に町の最上位計  
画としての由良町総合  
戦略が策定されました。  
この総合戦略に対しての町  
長の全体的な考え、方針は、  
当戦略において将来の人  
口について、各種の人口推  
計よりも高めの目標となっ  
ていますが、それらを上回  
る目標を達成するためには、  
産業の振興が必要ですが、  
各産業分野への支援・補助  
というだけでなく、大規模  
事業を始められるよう、町  
が中心となった取り組みは  
できないか。

戦略に基づいたもので今年度途中、あるいは来年度、  
どの程度の事業を実施予定なのか。

### 答

(町長) 2060年の人口目標を4700人と設  
定し、この目標に向けて各種事業を実施してい  
きます。

「安定した雇用の創出」、「新しい人の流れをつくる」  
「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時  
代に合った地域づくり・安全な暮らしを守る」とも  
地域と地域を連携する「この4つの柱を基本といたし  
まして、現在、具体的な事業を検討してあるところで  
あります。限られた予算の中で、効果がすぐ現れる事業もあ  
りますし、長年かかって効果の現れる事業もございま  
すので、それらを考慮し、各事業を実施していきたいと  
考えております。  
本年度の補正予算では、サイクルイベント事業を計  
画しております。  
町創生に向けての施策については、予算の編成過程  
で構築していきたい。

## 高度な学習機会のために、 教育の向上について

小中連携を密にして効果を出して行く

### 問

小中一貫教育、そしてその前の小学校統合の調  
査研究を進め、その利点を現状の小中連携等に取り  
入れていく「特別な委員会」を設置してはどうか。

### 答

(教育長) 現状では特別な委員会の設置は考えて  
いません。

小中一貫教育については、研究し、取り入れられる  
利点については、積極的に日頃の中小連携の取り組み  
に生かしていきたいと考えています。

### 問

住環境のため、教育環境を向上させることに  
ついて、また、教育の全般的な向上のために、小中  
一貫教育等の思い切った改革を進めて行くべきとい  
う考え方に対する町長の考えは。

### 答

(町長) 公立の義務教育の中では特色ある教育は  
難しいが、教育環境を向上させる事、現時点では  
小中連携を密にして効果を出して行く事が大事だと  
思っています。

(その他の質問)  
●今年度の全国学力テストの詳細な分析結果は

## 2015年(平成27年)主な議会年表

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月
9日	2日	18日	20日	7日	2日	1日	8日	28日	4日	2日	15日	27日	26日	16日	21日	25日
和歌山県後期高齢者医療広域連合議会定例会 由良町議会議員選挙告示 由良町議会議員選挙(無投票) 「議会運営委員会」開催 「第1回臨時会」(初議会) (正副議長選挙、他)	御坊広域行政事務組合議会定例会 御坊市外5ヶ町病院経営事務組合議会定例会 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会 日高広域消防事務組合議会定例会 議会運営委員会 開催	御坊広域行政事務組合議会臨時会 和歌山県町村議会議長会定期総会(和歌山市) 議会運営委員会 開催	「第2回臨時会」(工事請負契約の締結・ 専決処分承認、他) 議会運営委員会 開催 元気ゆうらふるさとフェスティバル(白崎 海洋公園)	日高広域消防事務組合議会臨時会 「第2回定例会」(一般会計補正予算、特 別委員会設置、他) 総務文教常任委員会開催(町内学校訪問) 産建厚生常任委員会開催(企業訪問・町単 独事業現場視察、他)	日高郡議会議長会定期総会 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会定例会 議会運営委員会 開催	「第3回臨時会」(小引区漁業集落環境 整備事業管理工事請負契約の締結、他) 議長会要望活動(和歌山県知事) 議会全員協議会	ゆら創生総合戦略調査特別委員会 和歌山県町村議会全議員研修会 日高広域消防事務組合議会臨時会 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会 議会運営委員会 開催	「第3回定例会」(一般会計補正予算、特別 会計補正予算、平成26年度一般会計及び特別 会計歳入歳出決算認定、条例改正、請願など) 産建厚生常任委員会視察(奈良県桜井市) 日高郡議会議長会定期総会 総務文教常任委員会視察(橋本市)	全国広報研修会(東京都) 日高郡議会全議員研修会(みなへ町) ゆらふれあい祭(由良町商工会横 町) 日高郡議会議長会親善ゲートボール大会(美山 ドーム)	全国議会議長会全国大会(東京都) 「税に関する標語」表彰式 議長林・福祉センターホール大会(参加18 チーム・由良中学校運動場) 県議長会委員長・副委員長研修会(和歌山市) 産建厚生常任委員会・総務文教常任委員会 合同視察研修(鳥取県) 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会 日高広域消防事務組合議会臨時会 議会運営委員会 開催	「第4回定例会」(一般会計・特別会計補 正予算、土地の取得、条例改正、由良町選 挙管理委員の選挙、請願、他) 議会全員協議会 ゆら創生総合戦略調査特別委員会 産建厚生常任委員会(請願第4号について) 御坊広域行政事務組合議会定例会 御坊市外5ヶ町病院経営事務組合議会定例会					



# 新しい年を迎えて

## 申



玉置 一郎 議長

新しい年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

平素は議会に対しまして、ご支援とご協力を賜わり感謝申し上げます。

平成28年の干支は、「丙申（ひのえさる）」です。「申」には、「樹木の果実が熟して固まり伸びる」という意味があり、「丙」には、「明らかに」という意味があります。この2つが合わさる丙申の年は「物事が大きく進歩発展し、成熟する年」となるそうです。

昨年10月、少子高齢化による町の衰退を阻止すべく、住民・企業・地域・行政が一致団結して取り組んでいくための行動指針・指標を定めた『由良町総合戦略』が、策定されました。

由良町が、将来に渡って永続的に振興・発展するためには、行政だけでなく地元企業、地域の力、そして、町民皆様の力が必要不可欠となります。

議会においても、「ゆら創生総合戦略調査特別委員会」を昨年設置し、より良い町づくりのため、議員10名一丸となって全力で取り組んで参ります。

今後とも、町民皆様のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。



藤田 富三 副議長

明けましておめでとうございます。昨年中大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。今年は何かと忙しい年になりそうですが、私としましては、何とか一歩前へ踏み出します。皆様方の温かいご支援ご協力の程、心よりお願い申し上げます。



中村 真一 議員

明けましておめでとうございます。皆様方には新しい年を迎えられ心からお慶び申し上げます。本年も町民の皆様が安全・安心な生活を営むことができるよう、全力で取り組んでまいります。今後とも、ご指導のほど、よろしくお願い致します。



森 三枝子 議員

明けまして、おめでとうございます。新人として早一年が過ぎました。日々勉強と思いつつ忙しい毎日をお過ごしています。今年はずっとたくさんの方の町民のみなさんの声を聞き、町民のみなさんのご意見を町政に、届けられる様にガンバリたいと思います。これからも、よろしくお願ひいたします。



中谷 茂生 議員

新年おめでとうございます。議員としてどうあるべきかの勉強を続け、由良町がさらにすばらしい町となるために少しでも力となれるような活動を追求していきます。そのためには町内の多くの皆様とのお話しをしていきたいと思います。その機会がありましたらよろしくお願ひいたします。



由良 守生 議員

議員生活も2期目となり、声をかけて頂くことが多くなりました。任務を思うと、薄水を履むが如しです。成長が追い付かない。農業しながら焦りもある。今年も皆様のご指導、よろしくお願ひ致します。



山名 実 議員

明けましておめでとうございます。皆様方には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。本年も住みよい由良町をめざして、全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご指導のほどよろしくお願い致します。



吉田ひとみ 議員

明けましておめでとうございます。今年も、皆様方の安全、安心な住み良い町づくりのために、あつちうち、走り回りたいです。今後とも皆様のご指導お願ひいたします。



馬場 博文 議員

新年おめでとうございます。町民の皆様には、新しい年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。昨年は、皆様方にご支援ご協力を賜わり誠にありがとうございました。議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の皆様期待に添えるよう決意を新たにし、初心にかえり全力で活動してまいります。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。



川出 純 議員

新年おめでとうございます。由良町の発展は子ども人口の増加にあると思います。青年会の取り組み、高齢者の見守り、地域団体の取り組みなどが、子どもを守る運動です。子どもと一緒、成長できれば、町はより輝くと思えます。みなさまと一緒に、良い町をつくりたいと思います。



**シリーズ 防災メモ⑦**

**「私は、逃げます!」**

**家族で決めた避難場所**

**会いましょう!**

自分自身の避難カードを作りましょう。名前や住所、各家族で決めた緊急避難先や避難場所などを記入し、家族で情報を共有するものです。災害の際、家族と連絡がつかないことは不安を大きくします。常に携帯する事を心がけましょう。



### 編集後記

議会広報を担当して、早いもので一年が過ぎようとしています。

町民のみなさまが、手にとって読んでいただける議会だよりを目指して作成しています。

「こんにちはは議会です」は、平成28年5月号より現在のA3サイズからA

4サイズになる予定です。

もちろん、内容もリニューアル。

乞うご期待!

(真)

- 議会広報編集委員会**
- 委員長 川出 純
  - 副委員長 森 三枝子
  - 委員 中村 真一
  - 中谷 茂生
  - 由良 守生
  - 山名 実
  - 吉田ひとみ